

2018年3月 改訂(第2版)

承認指令書番号

22動薬第482号

指定医薬品 使用基準

貯法 気密容器

販売開始年月

2010年9月

水産用QTC20%「バイオ」

(テトラサイクリン系抗生物質製剤)

【成分及び分量】

本剤1g中

有効成分	含量
オキシテトラサイクリンアルキルトリメチルアンモニウムカルシウム塩	200mg(力価)

【効能又は効果】

オキシテトラサイクリン感受性菌に起因する下記疾病魚類の死亡率の低下。

ぶり、まだい、まあい、ティラピアなどのすずき目魚類
 : 連鎖球菌症、ピブリオ病
 ひらめなどのかれい目魚類
 : 連鎖球菌症

【用法及び用量】

魚体重1kg当たり1日量オキシテトラサイクリンとして次の量を投与する。

すずき目魚類 : 50mg(力価)
 かれい目魚類 : 50mg(力価)

なお、上記の50mg(力価)は、本製剤に換算すると250mgとなり、その計算量を給与前に飼料中に均一になるように混じた後、投与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと。

(一般的注意)

- 本剤は、下表に掲げる対象魚種の対象疾病を治療するために使用し、下表に掲げる対象魚種以外の魚又は動物に使用しないこと。

対象魚種	対象疾病
すずき目魚類	連鎖球菌症、ピブリオ病
かれい目魚類	連鎖球菌症
- 本剤は、適切な量で使用しないと期待される治療効果が得られず、これを超過して使用した場合には、思わぬ副作用が発生するおそれがあることから、本使用説明書の【用法及び用量】に従って正しく使用すること。
- 本剤は、病気の治療に必要な最小限の期間の使用に止めることとし、病気が治まった後は使用しないこと。また、治療の効果の有無にかかわらず、8日間以上の連続投与は避け、繰り返し使用しないこと。
- 本剤は指導機関(家畜保健衛生所、魚病診断総合センター、水産試験場等)に相談の上使用すること。
- 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

【本質の説明又は製造方法】

本剤はオキシテトラサイクリンアルキルトリメチルアンモニウムカルシウム塩を主成分とする水産用製剤である。オキシテトラサイクリンアルキルトリメチルアンモニウムカルシウム塩はストレプトマイセス・リモーサスの培養で得られたオキシテトラサイクリンにアルキルトリメチルアンモニウムと水酸化カルシウムを加えて製造される。

(使用者に対する注意)

- 餌等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないよう注意すること。
- 本剤の取り扱い時には、防御メガネ、マスク、手袋、作業着等を着用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 本剤は、よく振り混ぜてから使用すること。
- 使用済みの空容器等は地方公共団体の条例等に従い適切に処分し、他に流用又は転用しないこと。
- 開封後は、すみやかに使用すること。
- 本剤の色に異常が認められた場合には使用しないこと。
- 本剤は、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、本剤を他の容器に入れかえないこと。
- 本剤は、小児の手の届かないところに保管すること。

2. 使用に際して気を付けること。

(使用者に対する注意)

- 誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 本剤が眼に入った場合には、直ちに水でよく洗い流し、医師の診察を受けること。
- 本剤の有効成分であるアルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリンは、ヒトや実験動物に対する催奇形性に関する報告があるので、妊娠中の女性が投与作業を行う場合は注意すること。
- 本剤の有効成分であるアルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリンには、同成分を含有する粉末の接触により皮膚炎を惹起したとの報告があることから、取り扱いに際しては眼や皮膚に付着しないよう注意すること。

【包装】

10kg(1kg×10分包)

【製品情報のお問い合わせ先】

バイオ科学株式会社
 〒779-1292 徳島県阿南市那賀川町工地246番地1
 TEL (0884) 42-3090

注意一 本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、すずき目魚類、かれい目魚類について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

すずき目魚類 : 食用に供するために水揚げする前20日間
 かれい目魚類 : 食用に供するために水揚げする前40日間

製造販売業者



バイオ科学株式会社
 徳島県阿南市那賀川町工地246-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報のお問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所

(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。